

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	353	道路維持補修事業								
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木管理課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	02	目	道路維持費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路施設管理運営費			細事業名 (事業2)	道路維持補修事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	—		終了予定年度	—						
事業の目的	道路交通の安全性及び利便性を確保する。										
事業の概要	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	境界立会い・測量、修繕工事（道路・道路反射鏡） 長寿命化修繕工事（橋梁・舗装）、橋梁点検業務、 耐震化に伴う設計・工事（橋梁）、跨線橋点検補修業務										
課題	工事を行うに当たり、緊急性・公共性の見極めが重要となる。 今後、橋梁等の長寿命化に多くの工事が掛かる										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	108,597	千円	162,880	千円	128,050 千円				
		決算（見込）額	129,260	千円	146,081	千円	千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	19,186	千円	29,950	千円	51,104 千円				
		一般財源	110,074	千円	116,131	千円	76,946 千円				
	人件費 (B)		4,939	千円	9,074	千円	9,074 千円				
	人工（職員数の内訳）		0.64	人	1.19	人	1.19 人				
トータルコスト (A) + (B)		134,199	千円	155,155	千円	137,124 千円					
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	修繕工事等の実施件数	件	目標		75	75	70				
			実績		62	94					
	達成度				82.7%	125.3%					

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 道路交通の安全性及び、利便性を確保するため、継続して実施する。	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容（課題に対する改善等）	緊急性、公共性を考慮し判断していく。 橋梁等の長寿命化に取り組んでいく。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	358 新所原笠子線道路改良事業									
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	02	項	道路橋梁費	03	目	道路改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	道路改良費			細事業名 (事業2)	新所原笠子線道路改良事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	平成39年度						
事業の目的	本路線を整備することにより、増加する交通量に対し歩行者の安全を図る。										
事業の概要	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	道路詳細設計 L=0,31 km										
課題	事業予算及び事業用地の確保										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	5,600	千円	5,600	千円	35,685		千円		
		決算 (見込) 額	5,352	千円	5,568	千円			千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	33,350		千円		
		一般財源	5,352	千円	5,568	千円	2,335		千円		
	人件費 (B)		1,950	千円	6,980	千円	8,023		千円		
	人工 (職員数の内訳)		0.25	人	0.95	人	1.09		人		
トータルコスト (A) + (B)		7,302	千円	12,548	千円	43,708		千円			
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	計画に対する整備率	%	目標		1	2	5				
			実績		1	2					
達成度				100.0%	100.0%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 歩行者の安全確保と利便性の向上を図るための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	新所原駅南口の整備に伴い、アクセス道路の歩道設置及び道路改良を社会資本整備総合交付金事業により実施する。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	366	都市計画道路松山茶屋松線整備事業 (※都市計画関係事務費に含まれる。)			
総合計画	めざすまちの姿	5	調和のとれた便利なまち		担当部	都市整備部
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路			担当課	都市計画課
関連予算科目	一般 会計	08	款	土木費	04	項 都市計画費
	目	01		目 都市計画総務費		
予算事業名	基本事業 (事業1)	都市計画総務関係経費		細事業名 (事業2)	都市計画道路松山茶屋松線整備事業 (※都市計画関係事務費に含まれる。)	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-	
事業の目的	浜名湖西岸土地区画整理事業のアクセス道路となり、かつ湖西市道路ネットワークの南北軸を形成する当該道路を整備し、湖西市の発展に寄与する。					
事業の概要	(都)松山茶屋松線について、整備未定の浜名バイパス浜名ICに結ぶルートから既存の大倉戸ICに結ぶルートに変更し、市道古見新居線（新居鉄工団地入口付近）までの延長L=2,300m、幅員W=16mの道路整備を行う。					

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	松山茶屋松線地質調査業務委託 一式						
課題	事業に対する地元の合意						
コスト	事業費 (A)	当初予算額	36,545	千円	10,273	千円	千円
		決算 (見込) 額	25,398	千円	6,875	千円	千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	千円
		一般財源	25,398	千円	6,875	千円	0 千円
	人件費 (B)	10,096	千円	10,026	千円	0 千円	
	人工 (職員数の内訳)	1.35	人	1.35	人	0.00	人
	トータルコスト (A) + (B)	35,494	千円	16,901	千円	0 千円	
活動指標	内容	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	松山茶屋松線の整備計画に対する整備率 (累計)	%	目標	3	5	7	
		%	実績	3	5		
達成度		100.0%	100.0%				

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	都市計画の方針に従い、計画的にまちづくりを行うためには必要な業務である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	地元の理解を得るため、丁寧な説明を行うとともに、地元配慮した設計を行う。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	661 三ツ谷一の橋線整備事業									
総合計画	めざまちの姿	3	安全で安心して暮らせるまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	04	項	都市計画費	02	目	街路事業費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	街路等整備費			細事業名 (事業2)	三ツ谷一の橋線整備事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	平成33年度							
事業の目的	市道分川大沢線と市道南部幹線を結ぶ幹線道路の整備を行うことにより、歩行者及び自動車利用者の利便性の向上と、地域の交通安全を図る。										
事業の概要	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	道路詳細設計 L=0.16km										
課題	理解が得られない地権者への対応										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	1,134	千円	9,645	千円	0 千円				
		決算(見込)額	845	千円	3,928	千円	千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	980	千円	0 千円				
		一般財源	845	千円	2,948	千円	0 千円				
	人件費 (B)		975	千円	8,023	千円	0 千円				
	人工(職員数の内訳)		0.13	人	1.09	人	0.00 人				
トータルコスト (A) + (B)		1,820	千円	11,951	千円	0 千円					
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	計画に対する整備率	%	目標		1	4	5				
			実績		1	2					
達成度				100.0%	50.0%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	市道分川大沢線と市道南部幹線を結ぶ本路線を整備することにより、歩行者及び自動車利用者の利便性の向上と、地域の交通安全を図るものであり、総合的に判断しても適切なものである。進捗状況は理解が得られない地権者所有地の用地測量ができない状況である。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容(課題に対する改善等)	都市計画街路県費補助事業によりH33の完了を目指す。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	670	鷺津駅谷上線整備事業								
総合計画	めざすまちの姿	3	安全で安心して暮らせるまち			担当部	都市整備部				
	基本計画【施策】	5-④生活の要は道路				担当課	土木建設課				
関連予算科目	一般	会計	08	款	土木費	04	項	都市計画費	02	目	街路事業費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	街路等整備費			細事業名 (事業2)	鷺津駅谷上線整備事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	平成28年度		終了予定年度	平成39年度						
事業の目的	国道301号と市道三ツ谷谷上線を結ぶ幹線道路の未整備区間の整備を行うことにより、歩行者及び自動車利用者の利便性の向上と地域の交通安全を図る。										
事業の概要	歩行者の安全と利便性の向上のため、歩道の整備を行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	道路詳細設計 L=0.45 km										
課題	事業予算及び事業用地の確保										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	0	千円	4,000	千円	9,500 千円				
		決算 (見込) 額	0	千円	6,991	千円	千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	1,520	千円	8,250 千円				
		一般財源	0	千円	5,471	千円	1,250 千円				
	人件費 (B)		0	千円	8,023	千円	10,110 千円				
	人工 (職員数の内訳)		0.00	人	1.09	人	1.37 人				
トータルコスト (A) + (B)		0	千円	15,014	千円	19,610 千円					
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	計画に対する整備率	%	目標		0	1	2				
			実績		0	1					
達成度				100.0%							

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 歩行者の安全確保と利便性の向上を図るための事業であり、総合的に判断しても適切なものである。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容 (課題に対する改善等)	都市計画街路県費補助事業及び社会資本整備総合交付金事業によりH39の完了を目指す。